

踏み跡 <My Mountains>

八ヶ岳	北横岳から蓼科山へ	No.205
-----	-----------	--------

昨年夏に会津駒ヶ岳へ同行した大久保君と二度目の山。昨年5月に計画していたが、天候上の理由から流会になってしまった「蓼科山」に再挑戦しようということになった。

自分としても、八ヶ岳（北八つも含めて）の主要な稜線や主要な峰はだいぶ片づけたつもりだが、蓼科山が残ってしまっているので、気がかりだった。

昭和61年5月17日

6時05分に自宅を出発し町屋の大久保邸で大久保君をピックアップ。江戸橋から首都高速に入り、中央自動車道で諏訪インターへ。

予定より出発時刻が遅くなってしまったので、ロープウェイを使うことにした。

昼食をとってロープウェイ駅発10時20分。（片道600円）ロープウェイの上の駅で水を汲むつもりでいたら、何と山頂駅には飲み水の蛇口はなかった。

しかたなくすぐに出発。

それにしても坪庭からの八ヶ岳南部方面の眺めは素晴らしい。主峰の赤岳を頂点に、長く尾を引く裾野に至るまで、そしてその向こうに南アルプスの山々。鳳凰・北岳・甲斐駒・仙丈・・・、うれしくなる眺めだ。



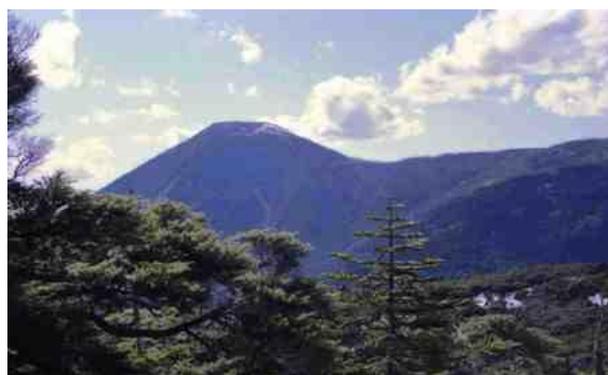
北横岳（2472.5m）大きな谷を挟んで目の前に蓼科山。

5月の山は緑が映えて美しい。青い空に白い雲、深緑の稜線と蓼科山の山頂付近の岩の色・・・。（右写真）

北横岳から大岳を経て天狗の露地へ、そして双子池へ。

双子池ヒュッテ16時25分。

今宵の宿はここ、デラックスに山小屋一泊二食付き（4,700円）としゃれる。



いかにも北八ツらしい
「池と美しい針葉樹林」を堪能。
（左写真）

昭和61年5月18日

出発8時05分。双子山を越えて大河原峠へ朝のウォーミングアップにはちょうど良い起伏。

大河原峠8時58分。朝のさわやかな空気の下で見下ろす天祥寺原の柔らかな広がり、つまり最も大河原峠らしい景観を楽しむ。

ここは海拔2100m、蓼科山までは標高差430m。見上げてため息をついた後出発、9時23分。

将軍平（2360mぐらいか？）10時50分、かなりボリューム感のある登りが続く。

踏み跡 <My Mountains>

大きな岩の積み重なった見晴らしの良い斜面に出ればもう頂上は近い。

蓼科山 (2530.3m) 12 時 15 分。八ヶ岳南部の主峰は勿論のこと、雪をたっぷり付けた南アルプスから中央アルプスの山々、木曾御岳から北アルプス……。贅沢な眺めが連なる。

高校生らしき団体が沢山登ってきてにぎやかになってきたので、頂上を譲ってこちらは下山開始。

帰路は將軍平から天祥寺平へ下り、竜源橋に出るコースを選んだ。

天祥寺平の笹原があまりにもきれいなので、思わず休憩。ロープウェイ駅の駐車場に 16 時 45 分に帰着。

大久保邸経由で自宅に着いたのは、辛うじて「今日」と言うことができる 24 時だった。

以上

